

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分区

帯広東ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

2018-2019 年度

帯広東ロータリークラブ

会 長 益子 裕之

幹 事 池田 誠

メディア委員長 加藤 雄樹

「前進への挑戦」

第1634回例会

平成30年11月20日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立: 1984年6月15日 ■認証: 1984年6月18日 ■例会: 毎週火曜日 12:30~13:30

■事務局: 帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場: ホテル日航ノースランド帯広

y.kato



2018-2019 年度 国際ロータリーテーマ

【インスピレーションになろう】

2018-2019 年度国際ロータリー会長

バリー・ラシン

ガバナーテーマ

【行動するロータリー、つながるロータリー】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー

細 川 吉 博

月間テーマ

【ロータリー財団月間】

◎起 立

大塚正昭 副SAA

◎友情の握手

大塚正昭 副SAA

◎点 鐘

益子裕之 会 長

◎開 会 宣 言

大塚正昭 副SAA

ロータリーソング (我等の生業)

◎会 食

会長挨拶

益子裕之 会長

皆さんこんにちは。昨日家に帰
りまして大きなニュースが飛び込
んでおりまして、皆さんもこのニ
ュースを小耳にした方も多いかと
思います。日産自動車の会長の
ゴーンさんが不祥事ということで、
この日本にとってトヨタ・日産・



ホンダという大きな企業は国を代表する企業であり、ま
た国民の皆さんの大切な年金資金の運用先でもあるとい
うことで、今後の展開によっては国民の皆さんの生活に
何らかの影響があるかもしれないという報道も出ており
ます。身近なニュースを深掘りしていくと、いろんな事
が見えてくるのだなと感じてございます。また最近は何
がおきるか分からないなというのも、大変ニュースを
見ていて感じるところでございます。

12月に予定しております年末家族会の打ち合わせに参
加させていただきまして、皆さんの勉強という形ながら
大変楽しい会になるだろうなと実感を持っております。
多くの皆さんの出席があれば、より楽しい会になるだろ
うなと思っておりますので、ぜひ多くの家族の皆さんの

ご参加を呼びかけたいと思っております。

本日福岡さんより、大変素敵な写真が30部提供されて
おります。皆さんのお手元にも届いているかと思いますが、
今年の層雲峡の紅葉の写真でございます。いつもいつも
貴重な素敵な写真を沢山、お届け頂いていることに深く
感謝申し上げますので、皆さんのお手元に届いているか
と思っておりますので、ゆっくりとご鑑賞していただければな
あと思っております。

最後に、今日から先日お話をしておりました、ポリオ
の撲滅のパネル展示会を帯広市役所 1 階ロビーにて、本
日午後 3 時 30 分に大会セレモニーが行われまして、1 週
間にわたる展示会が行われます。11 月 22 日木曜日は当
帯広東ロータリークラブの担当日となっておりますので、
皆さんもお時間の許す限りで結構でございますので、市
役所 1 階ロビーの方にお顔を出しご協力を頂ければな
と思っております。

以上会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

会務報告

池田 誠 幹事

◎帯広東 R C、年次総会開催のご案内

日時 平成30年12月4日(火)午後0時30分(例会時)

場所 ホテル日航ノースランド帯広

◎帯広東 R C、夜間例会(年末家族会)開催のご案内

日時 平成30年12月11日(火)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

◎例会終了後、定例理事会を開催致します。

委員会報告

ローターアクト委員会 安藤洋幸 委員

ローターアクト委員会より、帯広ローターアクトクラ
ブ12月第1回例会クラスクリスマスパーティーのご案内
をお知らせいたします。

日時が12月7日金曜日午後7時から、2次会が7時半
から、場所はとかち館となっております。是非皆様ご参
加の上お願いいたします。ということで連絡が来てます
のでよろしくお願ひします。締め切りが来週の月曜日と
日が短いのですが、ご参加される方は私か今日欠席され
てます及川委員長まで連絡お願いいたします。

- **益子会長** 本日より、市役所ロビーでポリオ撲滅パネル展の開催です。宜しくお願い致します。
- **加藤(武)副会長** 12期目の決算確定申告をしました。有難うございます。
- **池田幹事** 今週末、日ハムファンフェスタに行きます。楽しみです。
- **大塚会員** 1年の豊穡に感謝して。
- **高田会員** 福島・会津若松へ紅葉を見に行ってきました。
- **上野会員** 本日の例会を担当させていただきます。ロータリー情報委員会です。さまざまな角度から会長方針のシンボルスローガンである「前進への挑戦」について意見交換があったことを期待しています。
- **宮前会員** スピードスケート ワールドカップで多くのリンクレコードが出まして、無事終わりました。選手に感謝です。大きな大会が終わりひとまず安心です。
- **古川会員** 本日は、皆様へと言うことで、福岡会員より素晴らしい紅葉の写真を頂きました。又(私の経歴)「風雪に耐えて」という本もお借りしました。
- **角会員** 昨日、雪が散らつき、季節の変わり目と言うことでニコニコします。娘の小雪は今月末で10ヶ月になり、歯が生えました。



出席報告

出席・プログラム委員会 石川博機 委員長

本日のホームクラブ出席は27名です、先週の例会までに、池田 誠会員・加藤昭治会員・加藤武志会員・古川直也会員を4名がホームクラブ100%です。来年の最終例会までよろしく願いいたします。

プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会

【情報集会報告】

上野敏郎 委員長

情報集会の報告会を開催させていただきます。テーマにつきましては、益子会長の前進への挑戦というものでございまして、それぞれ説明もされてますが、このスローガンの受けとめ方をどう受けとめているかということの皆さんも、交換し合う場に出来たらいいなと思ってこのテーマを選ばせていただきました。

Aグループ 大池梨華 会員

私達のグループは10月25日に板倉さん石川さん鎌田さん益子さん加藤雄樹さん大塚さん私の7名で行いました。先輩たちの話をまとめるのは大変恐縮ですがよろしくお願いいたします。



テーマの前進への挑戦を形にしようとのことなどを話し合いました。今は昔と違って奉仕団体などが沢山あり、

自分が選ぶことができるのになぜロータリーなのかロータリーにピンとこない人もいます。他人を紹介する人は連帯保証人と一緒にあり責任あるのだが、今は会費集めだけの会になりつつあり、ロータリー本来の良さどう伝え紹介することが、やりずらくなりつつある。R Iはどうなっているのか、どう変化されたいのか、方向性が分かりづらい、数で運営することだけにこだわりすぎて奉仕を見失っているように感じる。R Iの維持が第一の目標すぎて魅力を失いつつある。本来の心意気が薄れてきてちょっと、寂しくなってきたという意見もありました。

例えば奈良少年スポーツを支援するなど、過去にとらわれないで奉仕やボランティアを積極的にやることなど、前進の一つではないか。要するにロータリーとは何か？昔はなかなか入会は厳しく厳格かつ規律は厳しいものであったが、今は職業人じゃなくとも誰でもよくなり、例会も減らしてもいいなど、会員増強しなくてもなかなか押せない状況にある。全国的に混乱し一貫性がない。本当にやらなきゃいけないことが奉仕を通し、助け合えたり精神的に協力し合うことでもある。ただ、会員を増やせばいいというものではなくロータリーならではの魅力や奉仕在り方を伝え、会員増強に繋げるには同窓会や親睦を通して、会員同志が知り合えれば良い付き合いが出来方向性が見えて来るのではないかな。仕事をする上でお客様に喜んでいただくことも職業奉仕の一つであり、いろんな角度から物を考える発想が出てくる。そういうことも話せる、良い選択肢になればロータリーに入った意義と魅力に繋がるのではないかな。私個人の考えとして、思いとしては、私が自ら話さなくても、私は東ロータリーにいるんだということをお客様が基準を知っていたりします。社会人として職業人として、先輩たちのいろんな話をもっと聞きたいです。それを聞いて自分に照らし合わせ仕事に生かす。仕事を通して自分が学んだことを皆様に伝えたり、感じていただけたら、こういう人付き合い方や学び方ができたんだっていうことを伝えられたら奉仕の1つになるかもしれないなと感じました。

Bグループ 山口信博 会員

皆さんこんにちは。Bグループは11月13日の午後6時半に行われました。参加会員につきましては、福岡会員・金尾会員・泉会員・齊藤会員・深澤会員・古川会員と私ということでテーマは前進への挑戦のかたちにしようということで意見交換お話しも頂きました。



私なりにまとめてますが、いろいろなところもあると思いますけれども、お話しさせてもらいます。まず無理せず気おらずに前進できたらいいんじゃないかと、いう話でございまして、何か1つでも2つでも東ロータリークラブとして、社会に貢献できることを他のクラブとも共同で社会貢献出来ることこんな視点で進んでいってはどうかという話でございました。

そこに関連するところでもありますけど、私たちは内部的伝統と強化に重点を置きすぎた面もあるのではないかとお話しもございました。現在は若手会員も頑張ってい

る中で、他の地区との関係軸にどう向き合うか、どう前向きに進んでいくのかを検討すべき時期ではないかと。いう話もございました。その中で第1に新しい仲間づくりと、関連するわけでございますけど、仲間を増やすことそしてロータリークラブを活動したいという仲間を増やすこと。ここが大切だという話もございまして、新しい仲間作り、やはり現状よりさらに成長して、考えていくことロータリークラブの会員を多くしていくことによって、おのずと社会貢献し集会にも広がりて繋がって行くことだと思うわけです。

例えば他の地区、他の団体というところのお付き合いに、関わる事でございますけれども。例えば、JCあるいは商工会議所、他の団体会員との交流も積極的に行っていくことも必要かと思いました。

またその結果、いろんな仲間を増やす中で、きっかけも出てくるのではないかと話もございました。

今現在ロータリーアクトクラブに、ロータリークラブに精通した方がいらっしゃいます。本当にいいお話を伺えているという中で、温故知新の精神で東ロータリークラブの足跡をたどり、東ロータリークラブの伝統を継承していく、こういったものも必要なのかと。例えば諸先輩方の卓話・過去の写真等をお借りしまして、パワーポイントを映しながら卓話をして頂くことによって、テーマや内容を発言したことによって、先程申し上げました温故知新の精神で、東ロータリークラブの伝統を続けていくことではないかという話がございました。

今回、前進への挑戦をかたちにしようという事でございますけど、東ロータリークラブの前進とは何をもって前進というのか、例会に出席ありと親睦あり、親睦ありと奉仕ありの精神は、今以上に必要でないかという話、今こそロータリーの目的、ロータリアンの行動規範、四つのテストの基本原則を忘れることなく活動することが前進に繋がるというという事で、アイサーブからウイサーブにドンドン移行して行くように、ロータリークラブは個人奉仕が主で団体的奉仕が従となっているはず。私達は連携の強化を重点に今一度視野を広げて、先程の奉仕の精神に基づき進んで行くことが、必要ではないかと話はございました。そして現在の東ロータリークラブは、良い方向に向かっていると思うという話でした。

Cグループ 角 高紀 会員

Cグループは、11月13日おそらくBグループさんとほぼ同じタイミングでテーブル違いで開催をさせていただきました。参加者は加藤昭治さん、宮前さん、西藤さん、吉村さん、西田さん、馬淵さん、そして加藤雄樹さんは本来Aグループだったんですけども、ご好意でCグループにもご参加頂きました、それと私ということで、8名で話し合いをさせていただきました。

グループリーダーの宮前さんの、事前の意見の吸い上げをして頂いたおかげで、話し合い自体はそれぞれに活発になされたのではないかなと感じております。

本年度の益子会長のクラブテーマ、前進への挑戦そし



て、今こそ変化のとき、前進のときにその最大のエネルギーは会員増強という方針をです。打ち出されておりました、それを受けてどのように形にしていこうかと、いうことで話し合いが始まりました。

共通の認識として、そのためには前向きな考えと行動が必要です、ということで参加したメンバーは全員で、同意があったと思います。ちょっとどのように考えて行動するかということなんですけれども、まず会員増強という意味では、新入会員を勧誘するということもあるんですけれども、会員の退会防止も大切です。また当クラブにおいては、一度退会された方もいらっしゃるんですけれども、再度入会をしてもらえないかというような促しもあっていいんじゃないかという話がありました。何人かで誘ってたまには外食しようというようなこともやってもいいんじゃないかという話がありました。

それから会員の退会防止という意味では、例会が楽しくないといけないんじゃないかと。楽しい例会作りってというのは必要ですという話。私は親睦を図るために例会の内容を、しっかり考えていかなければいけない。そのために今までやってきた行事・例会の中で続けていることがあると思うんですけれども、それらについてのバージョンアップというかスケールアップというか、ちょっと改善をしていこうということが必要じゃないかという話がありました。それを繰り返すことによって、良い伝統になってね良い東クラブになるんじゃないかという話があり、そこで具体的な案として月に1回、夜間例会を開催してはどうか、夜開催することによって、お酒も入ったり時間の方も限られた時間であっても、もう少し延長していきたいとかそういったことで、夜間例会はどうなんだろうという話が出ておりました。

夜間例会に、例えば昨年度もありますけれども、ロータリーアクトの方々との交流を図る。またロータリーアクトクラブだけではなく、青年会議所・商工会議所の青年部でしたり、そういった会もございますので、そういったところに声をかけて、たまには一緒にビール会をやらうと、そういった交流会を企画して、例会をしてはどうかと、具体的な意見もありました。

話は少し変わりましたが、バリー・ラシン会長や細川ガバナーの方針の中で、ロータリーがどんな団体でどんな活動をしているのか、十分に理解されていないのではないかと話があったと思いますけども、これについて、もっとロータリーをアピールしていこうというテーマで、いくつかのですね意見が出ております。

ロータリーとして全体の活動として、今ポリオ撲滅の活動をしております、それらについてもっとアピールしてもいいんじゃないか、また近年、東クラブでは道の日の道路清掃をやっておりますけれどもこちらをもっとアピールしていいんじゃないか。また兄弟クラブでやっております、北クラブ、音更クラブとの共同事業である、植樹であったり。また、十勝ロータリー総括会議についてもですねもっとアピールしてんじゃないかというような話が出ております。

新しい取り組みとして、大きなイベントが帯広でも最近あります。世界に一つしかないばんえい競馬に対して

何か協力をしたかどうかということであったり。あと少年サッカーの大会が、近年十勝でも開催されている事などから、アンダーでいろんな階級があるみたいですが、少年サッカーの大会において、東クラブとして何か協力ができないかとか、あと最近行われております、スケートです明治オーバルで行われているスケート大会、今国際大会は行ってますのでそういったことにも何かできないか。また帯広市でやっております、フードバレーマラソンとかこちら、年々参加者も多くなっていることもありますし、何かできないかというような意見がありました。また地元のスポーツといえばミニバレー、ゲートボール、パークゴルフ、スピードスケートなどがあると思うんですけども、そういった地元地域に密着した、小さい大会でもいいので、東ロータリークラブとして冠をつけて、できないかとかそういった意見もありました。

あと最後になりますけども、最近の現実的な課題として、会長人事の推薦方法についての提案もありました。会長職への人材不足ということがありますので、2回目の会長の仕組みというのも実現していくのはどうかという意見も頂きました。

Dグループ 安藤洋幸 会員

これから必要とされるものは何か、各自意見を出し進行之いたしました。その意見を私が集約し、発表させていただきます。



一時は80人いた会員が今は40人である。若い会員が増えてきたが、例会ではひとことふたことしか話しておらず親睦が図れていない。ロータリーの原則は親睦であるが、会長の口癖、同好会を発足したがまだ軌道に乗っていない様子で、参加人数を増やし親睦を深めていきたい、他のクラブは飲み会が多く親睦がある、西クラブは各委員会で夜間例会を担当している、東ロータリークラブでもやってみてはどうか。ただし、同好会や飲み会にならないようにしたい。お酒を飲んで親睦を図れるが、奉仕をして親睦がなければ魅力がない。親睦＝楽しいではない。従来の活動が内部重視になっていると思う。東ロータリークラブの活動を広くアピールすることを考えてはどうか。理解を深めるため、毎月やるべきである、毎月でも足りないぐらいである。正しい理念があれば毎月集まる必要はない。本ロータリークラブの人間関係は素晴らしい、いろいろな職種が集まっており、会話をすることでの自分の長所・短所をチェックすることができる。現在まで仕事家庭の両面で長所を伸ばし短所を改善することができた。これからも皆さんからいろいろ学んで行きたい。

さらに成長するためにも、会員の増強は必須である。ロータリークラブに対する理解が欠けていたのではないかと思います、ロータリーを良く勉強して理解した。ロータリーの知識は不足していて当たり前である。ロータリー活動の核は5大奉仕、親睦はロータリー活動の力、魅力あるロータリー活動が第一と考える。ロータリークラブで東南アジアに行ったことがある、異国の地で歓迎を受け感銘を受けた。世界に広がりを持つてるのが、ロータ

リーの魅力である。それができなければつまらない。過去に良い奉仕を受け、また奉仕を行ったから今のロータリークラブがある。そして今の自分がある。前進への挑戦の見方に変えては、1年2年では挑戦にはならない、継続が必要である。活動の背骨を作っていきたい。その後にはうまい酒があるのではないかな。

以上が情報集会で意見交換した内容でございます。私自身入会したばかりですが、今回もたくさんの方の事を勉強させていただきました。私なりに前進するためには挑戦しなければならない、挑戦を続けていけば成功ばかりではなく、失敗もあると思います。1人で挑戦するよりも、皆様からいろいろ助言を頂いて、成功に近づくことができると考えています。助言を頂くためには、親睦がなければと思います。親睦とは互いに親しみ合い仲良くするという意味があります。奉仕活動で親睦が図れば、人間的にも成長できると考えております。今後も奉仕活動に積極的に参加したいと考えています。

益子会長の感想

大変素晴らしい発表を聞かせて頂きました、本年度のテーマ前進への挑戦、難しい面もございますが、私にとって前進というのは5人いた飲み会が6人になり、皆さんと話す時間があり少しずついろんな面で成長していく、このことが私は前進だと思っています。しかし、この東ロータリークラブは抱える問題の多い為に、飲み会や会合の案内しても、いつまでたっても人数が増えなかったり顔ぶれが同じだったり、そういう大変寂しい思いがございます。どうか皆で積極的な気持ちで前を進んで、これがやはり挑戦するということだと思っております。

今日の皆さんの発表の中で親睦という言葉が大変多く出ておりますが、コミュニケーションというのは簡単のようだけど大変難しい。この東ロータリークラブにおいても、多くの会員の皆様と上手にコミュニケーションをとれているのだろうか、お互い仲間として受入合える間柄になっているのだろうか、こういうことが1つの問題であろうと思っております。お互いが会話のキャッチボールをする時に、お互いが違うことを考えていれば分かり合えることは無い。お互いにとって共通点を見つけ出して、その共通点を元に話し合うことをもって、お互いを認め合うんだと、これが正しいコミュニケーションのあり方ですというお話がありました。

こういうことを含めて一つ一つ飲み会や発表会で話をしながら、皆さんと共に前進していきたい、成長していきたい、ひいては東ロータリークラブの会員増強に繋がり、未来の役職や会長候補などどんどん生み出せる会にしていきたいというのが、私の本当の願いでございます。

◎閉会宣言

大塚正昭 副SAA

◎点 鐘

益子裕之 会長

次回プログラム予定

職業奉仕委員会

11月27日(火)「ゲスト卓話」

太陽総合法律事務所 弁護士 中野尊仁 様